

1. 事業の位置付け

事務事業名	魅力ある花火大会開催事業		
事業担当	経済部 商業観光課		
予算科目	01-070103-020000	事業種類	<input type="radio"/> ハード <input checked="" type="radio"/> ソフト
総合計画の位置付け	04	基本目標4 活力とにぎわいに満ちたまち	
	02	②〈熟成〉市民の豊かな暮らしに貢献できる産業として成熟させる	
	02	2 まちのにぎわいづくりに結びつく産業を展開する	
根拠法令等			
対象・受益者	湘南ひらつか花火大会実行委員会	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> その他】 【協働： <input type="checkbox"/>		
目的・目標		事業の概要	
平塚八景である、湘南潮来、平塚砂丘夕映えの名所のPRとともに、市民参加による新たな花火大会が創出されています。		観光振興のため、市民の出資など市民参加による、にぎわいと魅力ある花火大会を開催します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	願かけ花火の周知手段数						単位	件
	説明・算定式	花火大会ホームページ・広報ひらつか・自治会							
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標		3	4	6	5	5	5	
	実績		3	4					
活動指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標								
	実績								
成果指標①	指標名	入り込み客数						単位	人
	説明・算定式	-							
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標		140,500	141,000	141,500	141,500	141,500	141,500	
	実績		110,000	130,000					
成果指標②	指標名	願かけ花火申込件数						単位	件
	説明・算定式	-							
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標		420	450	470	470	470	470	
	実績		418	395					
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成20年度の主な取組と成果									
ホームページや広報紙をはじめ、ポスターの掲示、プログラムの新聞折込等で花火大会の開催及び願掛け花火のPRを行いました。また、一般企業等からの協賛に対して、会場内に大型映像表示装置を設置し、企業宣伝などを行い、協賛するメリット等の充実に努めました。打ち上げ総数3,000発、130,000人の見物客があり、にぎわいと魅力ある花火大会を開催することができました。									
平成20年度の検証結果	A：成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価		
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	一時の楽しみではあるが、湘南ひらつかの夏の風物詩として市民のニーズは高く必要です。 夏の風物詩として花火大会を開催することは、市民満足度を高めるに有効です。また、湘南地域の近隣市町と開催日を調整して花火大会を開催しているため、地域全体のイメージアップに寄与しています。 願掛け花火などを取り入れ、市民参加を増やし、花火大会を開催することは、市民の郷土愛、満足、自覚を高めることができるため妥当です。 市民参加や市民出資(企業出資を含)を確保するとともに、コスト面においても効率的に花火大会を開催することを進めていくことが必要です。
今後に向けた課題の分析 願掛け花火など市民参加を更に活発化させ、コスト面においても効率的な花火大会を開催を目指します。						

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 決算額	平成21年度 予算額	平成22年度 試算額	平成23年度 試算額	平成24年度 試算額
事業内容			花火大会の開催	花火大会の開催	花火大会の開催	花火大会の開催 60回記念事業の実施	花火大会の開催	花火大会の開催
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	8,800	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500
事業費(A)		0	8,800	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500
執行率(%)		—	—	—				
内訳	職員(人)	0.00	1.25	1.25	1.26	1.26	1.26	1.26
	再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費(B)		0	10,489	10,489	10,529	10,529	10,529	10,529
フルコスト(A+B)		0	19,289	18,989	19,029	19,029	19,029	19,029

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成22年度の事業の方向性	
<input checked="" type="checkbox"/> 現状の規模で継続 <input type="checkbox"/> 拡大して継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 他事業と統合	
<判断理由> 市民の出資など市民参加を進めるとともに、平塚八景の一つである「湘南潮来」のPR等観光事業の一環として、効率的に花火大会を開催します。また、平成22年度は、第60回となりますが、開催経費の増を伴わない形の記念の行事を検討します。	
平成22年度の実行方針	
市民出資である願掛け花火のさらなるPRを行うとともに、協賛金の増加について積極的に取り組みます。	
課長コメント	市の財政状況や協賛金の減少等から、花火大会全般について検討するため、関係者と協議を重ねていきます。

5. 事業展開の経緯

	平成18年度事業分	平成19年度事業分	平成20年度事業分
進捗状況	—	①：予定どおり	①：予定どおり
主な取組と成果		平成19年8月3日（金）19時から20時30分まで、湘南潮来で開催した。カラーポスターB3, 500部、プログラム112, 000部作成し新聞折込を行った。メディアランナーによる広告などを行い、PR一般企業364件で9, 240, 270円、願掛け花火418件で796, 600円の協賛金があった。打ち上げ総数3, 000発で、強風による影響もあったが110, 000人の観客が訪れ、にぎわいと魅力ある花火大会を開催することができた。	ホームページや広報紙をはじめ、ポスターの掲示、プログラムの新聞折込等で花火大会の開催及び願掛け花火のPRを行いました。また、一般企業等からの協賛に対して、会場内に大型映像表示装置を設置し、企業宣伝などを行い、協賛するメリット等の充実に努めました。打ち上げ総数3, 000発、130, 000人の見物客があり、にぎわいと魅力ある花火大会を開催することができました。
検証結果	—	B：おおむね成果があがった	A：成果があがった
	平成20年度への展開	平成21年度への展開	平成22年度への展開
今後に向けた課題		市民参加を更に活発化させ、市民参加型を目指す。	願掛け花火など市民参加を更に活発化させ、コスト面においても効率的な花火大会を開催を目指します。
事業の方向性	—	現状の規模で継続	現状の規模で継続
取組方針		市民出資の願掛け花火の件数の増大を図るため、PRの件数を増やし、協賛金の伸びを目指すために、地元地域の方の集金協力を強化する。	市民出資である願掛け花火のさらなるPRを行うとともに、協賛金の増加について積極的に取り組みます。
事業区分	—	実施計画事業	実施計画事業

※実施計画事業評価は、昨年度の事業を評価し、来年度の予算編成の参考としています。

事業評価シート（平成20年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	都市漁村交流支援事業		
事業担当	経済部 農水産課		
予算科目	00-xxxxxx-xx0000	事業種類	<input type="radio"/> ハード <input checked="" type="radio"/> ソフト
総合計画の位置付け	04	基本目標4 活力とにぎわいに満ちたまち	
	02	②〈熟成〉市民の豊かな暮らしに貢献できる産業として成熟させる	
	02	2 まちのにぎわいづくりに結びつく産業を展開する	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： <input type="checkbox"/>		
目的・目標		事業の概要	
漁港施設の利用促進及び海洋レクリエーションが充実し、市民への漁業や海に対する理解が深まるとともに、市民から親しまれる漁業が推進され、漁業の活性化が図られています。		市民への漁業や海に関わる機会を拡大するため、各種海洋レクリエーションイベントを開催し支援していきます。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	都市漁村交流イベント開催回数						単位	回
	説明・算定式	-							
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標		5	5	6	8	10	12	
	実績		5	9					
活動指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標								
	実績								
成果指標①	指標名	都市漁村交流イベント参加者数						単位	人
	説明・算定式	-							
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標		200	200	250	300	350	400	
	実績		200	400					
成果指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標								
	実績								
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成20年度の主な取組と成果									
小学生による体験乗船や子供環境教室等を実施し、漁港施設の利用促進や海洋レクリエーションの活発化に取り組むことができました。									
平成20年度の検証結果	A：成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価		
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	イベントを実施することで市民への漁業や海に対する理解が深まり、親しまれる漁業の推進や漁港施設の利用促進に寄与しているため必要性は高いです。 子供環境教室や相模湾海遊体験など漁業や海に対する理解・関心を高める上で有効です。 体験乗船などのイベントは漁業者が主体的に行っており、妥当性は高いです。 平塚市漁業協同組合が専門性を生かし、効率的・効果的に実施していて、行政は支援する体制をとっているため効率性は高いです。
今後に向けた課題の分析 市民の漁業や海に対する理解を一層深めるために、交流事業の実施機会の拡充や参加者の増大を図ることが課題です。						

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 決算額	平成21年度 予算額	平成22年度 試算額	平成23年度 試算額	平成24年度 試算額
事業内容			都市漁村交流事業 への支援	都市漁村交流事業 への支援	都市漁村交流事業 への支援	都市漁村交流事業 への支援	都市漁村交流事業 への支援	都市漁村交流事業 への支援
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0	0
事業費 (A)		0	0	0	0	0	0	0
執行率 (%)		—	—	—				
内訳	職員 (人)	0.00	0.37	0.37	0.27	0.27	0.27	0.27
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	3,105	3,105	2,257	2,257	2,257	2,257
フルコスト (A+B)		0	3,105	3,105	2,257	2,257	2,257	2,257

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成22年度の事業の方向性	
<input checked="" type="checkbox"/> 現状の規模で継続 <input type="checkbox"/> 拡大して継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 他事業と統合	
<判断理由> 市民の漁業や海への理解を深めることにより、魚介類の消費拡大、漁港施設の利用促進、海洋レジャー産業の活性化が図られるため、継続して交流事業を実施していくことが必要です。	
平成22年度取組方針 小学生による体験乗船や子供環境教室、各種団体による海洋クルーズ等を積極的に支援・協力し、都市漁村交流を進めます。	
課長コメント	地元の漁業や海洋環境に関する市民等の理解と関心を高めるため、事業を継続して支援するものです。

5. 事業展開の経緯

	平成18年度事業分	平成19年度事業分	平成20年度事業分
進捗状況	—	①：予定どおり	①：予定どおり
主な取組と成果		小学生による体験乗船や子供環境教室等を実施し、親しまれる漁業の推進や遊漁業の活性化を図ることができた。	小学生による体験乗船や子供環境教室等を実施し、漁港施設の利用促進や海洋レクリエーションの活発化に取り組むことができました。
検証結果	—	A：成果があがった	A：成果があがった
	平成20年度への展開	平成21年度への展開	平成22年度への展開
今後に向けた課題		海業の推進により、漁業の活性化が活発となるよう利用者・参加者の増加を呼びかけてより理解度が向上するよう働きかけを行う。	市民の漁業や海に対する理解を一層深めるために、交流事業の実施機会の拡充や参加者の増大を図ることが課題です。
事業の方向性	—	現状の規模で継続	現状の規模で継続
取組方針		小学生による体験乗船や子供環境教室等漁業の推進や遊漁業の活性化のため現状の規模を継続する。	小学生による体験乗船や子供環境教室、各種団体による海洋クルーズ等を積極的に支援・協力し、都市漁村交流を進めます。
事業区分	—	実施計画事業	実施計画事業

※実施計画事業評価は、昨年度の事業を評価し、来年度の予算編成の参考としています。

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	市民アンケートによると、ひらつかの自然の中で最も海に魅力を感じるという結果が出ているところであり、市民ニーズは高いものがありますが、利用者の利便向上が不可欠であり、事業の必要性は高いと思われます。	● 高 ○ 低
有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	利用者の利便向上を目的とし、新港駐車場とのネットワークが構築され、ビーチパークの利用促進が図られるほか、散策路の整備により誰でもさんぽやジョギングが楽しめるようになるなど、有効性は高いと思われます。	● 高 ○ 低	
妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	「ひらつかの海」の、観光資源としての魅力を高める必要があります。	○ 高 ● 中 ○ 低	
効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	海岸管理者である神奈川県と役割分担を進め、より効率の良い事業進捗を図る必要があります。	○ 高 ● 中 ○ 低	

今後に向けた課題の分析

イベント数、来場者数は増加していますが、積極的なPR発信による広報活動に力を注ぎます。また、誰もが参加しやすいイベント内容となるよう、指定管理者に働きかけて行きます。ビーチスポーツコートの拡大や観客席設置など維持管理費用の増加が見込まれるため、管理費用を抑える整備を進める必要があります。

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 決算額	平成21年度 予算額	平成22年度 試算額	平成23年度 試算額	平成24年度 試算額
事業内容			浜辺のさんぽ道の整備	浜辺のさんぽ道の整備	ビーチスポーツエリアの拡大	湘南ひらつかビーチパークの管理・運営	湘南ひらつかビーチパークの管理・運営	湘南ひらつかビーチパークの管理・運営
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	1,943	55,516	39,370	32,730	32,730	32,730
事業費 (A)		0	1,943	55,516	39,370	32,730	32,730	32,730
執行率 (%)		—	—	—				
内訳	職員 (人)	0.00	0.55	0.55	0.70	0.70	0.70	0.70
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	4,616	4,616	5,850	5,850	5,850	5,850
フルコスト (A+B)		0	6,559	60,132	45,220	38,580	38,580	38,580

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成22年度の事業の方向性	
○現状の規模で継続 ○拡大して継続 ●縮小して継続 ○廃止 ○休止 ○終了 ○他事業と統合	
<判断理由> 浜辺のさんぽ道の延長が完了したため、事務事業として継続します。	
平成22年度 of 取組方針	
今後も引き続きひらつか海岸の利用を推進します。	
課長コメント	平成20年度より導入された指定管理者制度が軌道に乗り、より一層の利用者増が見込まれるため、観客席等の全体整備や海岸全体の利用計画を策定する必要があります。

5. 事業展開の経緯

	平成18年度事業分	平成19年度事業分	平成20年度事業分
進捗状況	—	①：予定どおり	①：予定どおり
主な取組と成果		市民ニーズの高まりからイベント数が増加したため、来場者は増加した。	市民ニーズの高まりからイベント数が増加したため、来場者は増加しました。また、さんぼ道の施工が完了しました。（延長：636メートル）
検証結果	—	A：成果があがった	A：成果があがった
	平成20年度への展開	平成21年度への展開	平成22年度への展開
今後に向けた課題		イベント数、来場者数の増加はあるが、PRを積極的に発信し広報活動に力を注ぎたい。また、誰もが参加しやすいイベント内容と成るよう指定管理者に働きかけていきたい。浜辺のさんぼ道については、維持管理費用の増加が見込まれるため、管理費用を抑える整備を進める必要がある。	イベント数、来場者数は増加していますが、積極的なPR発信による広報活動に力を注ぎます。また、誰もが参加しやすいイベント内容となるよう、指定管理者に働きかけていきます。ビーチスポーツコート of 拡大や観客席設置など維持管理費用の増加が見込まれるため、管理費用を抑える整備を進める必要があります。
事業の方向性	—	拡大して継続	縮小して継続
取組方針		ビーチスポーツエリアの使用料徴収等利用者からの負担を検討する必要がある。	今後も引き続きひらつか海岸の利用を推進します。
事業区分	—	実施計画事業	事務事業

※実施計画事業評価は、昨年度の事業を評価し、来年度の予算編成の参考としています。